

イベントの情報があれば、このスペースをご利用下さい

スター・ウィーク2015のテーマソング「COSMOS」

星空を歌う音楽ユニット・アクアマリンの、夏の星空によく似合う素敵な歌。
詳しくはアクアマリンのサイトへどうぞ！ <http://aquamari.com/>

スター・ウィーク掲示板「いま、星を見えています」

スター・ウィークの7日間、どこかでみなさんと同じように星空を
星空を見上げている人が、きっといるはず。そんな「誰か」と
つながってみませんか？



施設・団体名を入れて
イベントなどでお配り下さい

(C)copyright 1995-2015, StarWeek Project)

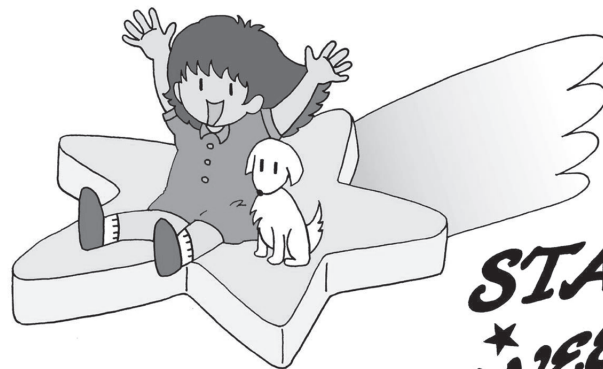
-ほしぞらなないろスター・ウィーク- スター・ウィーク

～星空に親しむ週間～

8月1日～7日

スター・ウィークとは・・・

バード・ウィーク(愛鳥週間)があるのなら、
「スター・ウィーク」があってもいいな…
子どもも大人も、だれもが気軽に星空を
見上げてほしい、そんな想いから始まった
星空に親しむ週間です。



**STAR
★
WEEK**
Aug.
1st-7th

主催:スター・ウィーク2015実行委員会
後援:自然科学研究機構 国立天文台・天文学振興財団

<http://www.starweek.jp/>

★自分の目でみつけてみよう★

☆織姫星・彦星(おりひめぼし・ひこぼし)

頭の上を見上げると、明るい星が3つ、ベガとデネブとアルタイルで「夏の大三角」と呼ばれている、大きな三角形ができます。その中の「こと座のベガ」が織姫星「わし座のアルタイル」が彦星です。空の暗いところなら、七夕のお話のとおり、2つの星の間に天の川が見えます。

☆天の川(あまのがわ)

街をはなれて空の暗いところに行くと、天の川が見えることがあります。ぼんやりとした、細長い雲のように見えますが、その正体は、たくさんの星の集まりです。

☆流れ星(ながれぼし)

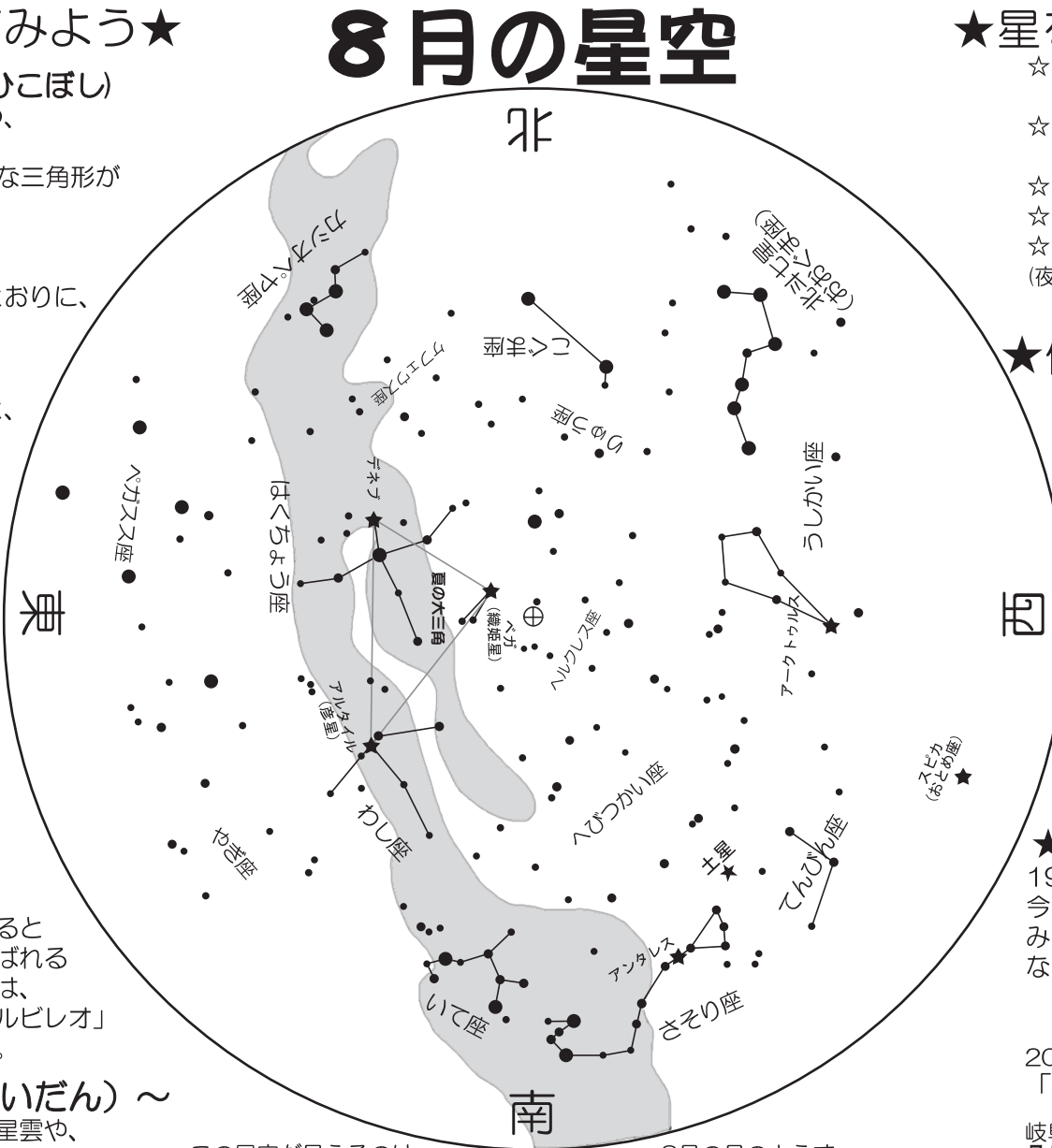
毎年8月12-13日ごろは、流れ星がよく見られます。「ペルセウス座流星群(りゅうせいぐん)」と呼ばれ、明け方ほどよく見えます。2015年は月の条件がよいので、流れ星に出会うチャンスも多いと思います。

～二重星(にじゅうせい)～

目で見ると1つの星なのに、望遠鏡で見ると2つ星が見える、そんな「二重星」と呼ばれる星が、たくさんあります。特におすすめは、はくちょう座のくちばしの所にある「アルビレオ」という星です。青と黄色の星が見えます。

～星雲・星団(せいうん・せいだん)～

天の川にそったあたりには、雲のような星雲や、星がたくさん集まった星団がたくさんあります。双眼鏡で、探検してみてください

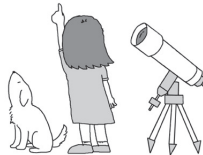


～この星空が見えるのは～
 8月1日夜9時ごろ
 15日夜8時ごろ
 31日夜7時ごろ

～8月の月のようす～
 7日 下弦 14日 新月
 23日 上弦 30日 満月

★この図のみかた★

⊕印のついてるところが頭の真上です。見たい方角を向いて、その見たい方角の字が正しく見えるように手前に回して空と見くらべてみてください。



★星を見に行く時の持ち物★

- ☆星の場所を知るために
→このリーフレットや星座早見盤
- ☆夜は暗い！足元は大丈夫？→懐中電灯
(赤いセロファンで光を弱くしてね)
- ☆寝転がって見よう→ビニールシート
- ☆夏でも夜は寒い→あたたかい服
- ☆その他→虫よけ、時計、などなど
(夜でかける時は、必ずおとなの人といっしょに！)

★伝統的七夕を楽しもう★

7月7日の七夕は梅雨のくもり空で、なかなか星が見えませんか。実は、江戸時代まで使われていたカレンダーは、現在のものと仕組みがちがひ、日付も1ヶ月ほどずれがあります。昔のカレンダーでの7月7日(伝統的七夕)は、今年は8月20日。部屋や身の回りの明かりを消して、普段より暗くなった夜空で、昔の人たちの気持ちになって、七夕を楽しんでみませんか？
 <伝統的七夕ライトダウン2015>
<http://7min.darksky.jp/>

★21回目のスター・ウィーク★

1995年から始まったスター・ウィークは今年で21回目になりました。みなさんが気軽に星空を見上げるきっかけになっていたら、とてもうれしいです。

2015年のキャッチコピー
 「ほしぞらなないろスター・ウィーク」

岐阜県 榊原朱梨さんの作品
 7日間毎分毎秒変化する
 星空の美しさや面白さを
 イメージしました。
 日本語のやわらかさと親
 しみやすさを考えて、
 ひらがなで表現しました。

